

令和4年 第3回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 令和4年（2022年）2月18日（金）午後1時55分～午後2時50分

2. 場 所 総合教育センター 2階 講座室

3. 出席者 <教育委員会>

教育長	木下 誠	教育委員	瀧川 光治
教育委員	江原 礼子	教育委員	西岡 奈美
教育委員	太田 洋子		

<事務局>

教育総務部長	馬場 一憲	職員課長	福本 恭
学校教育部長	早崎 潤	学校指導課主幹	日外 亮
こども未来部長	大野 浩史	保健体育課長	中江 洋忠
生涯学習部長	綾野 昌幸	博物館長	中田美智世
教育長付参事	下笠 正樹	生涯学習部主幹	金子友次朗
こども未来部参事	岡田 章	教育政策課長	石田 亮一
学校教育部副参事	廣重久美子	教育政策課主任	中谷 克也
		教育政策課主任	大東 良太

4. 欠席者 なし

5. 傍聴人 なし

6. 議 事

(1) 開会宣言 木下教育長（午後1時55分）

(2) 日程報告 木下教育長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員はこれを了承。

日程第 1 令和4年第1回定例会会議録及び第2回臨時会会議録の承認

日程第 2 教育長報告

日程第 3 議案第10号の審議

日程第 4 報告第1号の承認（専決第1号）

日程第 5 報告第1号の承認（専決第2号）

日程第 6 議案第11号の審議

木下教育長より「日程第4および第5については、個人情報を含む案件であり、日程6は意思形成過程における案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか」との発議があり、全委員はこれを了承。

日程第4から第6は非公開の秘密会となる。

(3) 令和4年第1回定例会会議録及び第2回臨時会会議録の承認（日程第1）

令和4年第1回伊丹市教育委員会定例会（令和4年（2022年）1月28日（金）開催）会議録及び第2回伊丹市教育委員会臨時会（令和4年（2022年）2月4日（金）開催）については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

教育総務部長より「2月分人事報告」・「1月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「1月分の寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部及び市立伊丹高等学校の、こども未来部長よりこども未来部の、生涯学習部長より生涯学習部の、教育長付参事より人権教育室の「1月分行事実施報告」・「3月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

江原委員

3点の質問がある。

1点目は、人事報告について、コロナ禍において、先生は教育活動を進められているが、特に今年度健康管理をする上で、取り組んだことはどのようなことか。

2点目は、総合教育センターの行事実施報告について、1月18日に伊丹マイスター研修（小学校外国語）をオンラインで実施されているが、小中学校の先生が参加されたのか。また、どのような内容だったのか。

3点目は、こども文化科学館の行事実施報告について、出張授業 in 天神川小学校・総合学習支援 with 神津小学校に参加した子どもや先生の反応はどうだったのか。また、こども文化科学館の職員の手応えはどうだったのか。

職員課長

1点目の教職員の健康管理について、今の教職員の時間外勤務に関しては、毎月学校園長から報告をもらっている。その中で、時間外勤務が多い教職員については、職員課から、毎月電話をし、所属長に面談をするよう依頼している。面談をする中で、状況に応じて、校務分掌を軽くすることや、働き方のアドバイスをするといった面談を実施している。あまりにも多い教職員については、産業医の面談等を促す取り組みをしている。

学校教育部長

2点目の伊丹マイスター研修（小学校外国語）について、参加者は17名中14名が小学校、3名が中学校の先生である。それに加えて、総合教育

センターの英語科の指導主事が3名受けていた。内容については、小学5年生の英語授業で、参加している方が児童となり、オンライン形式で模擬授業を展開するという内容となっている。1月18日以降に学級閉鎖等が頻発したので、いい研修になった。

江原委員

これまでも、この場で話題になっているが、中学校の先生とともに小学校の先生が学ぶ機会を、今後も続けていただきたい。

こども未来部長

3点目のこども文化科学館について、5年生を対象として体育館で行ったもので、職員1人が体育館で解説をし、他の職員2名がこども文化科学館の屋上から望遠鏡を操作して中継を飛ばし、天神川小のスクリーンに映すという授業を行った。

月の拡大映像を映す予定であったが天気が悪く、飛行機が飛んでいる様子を映すことになってしまったが、生徒の反応は屋上からのリアルタイムの映像に驚き、楽しみながら学んでいた。また、教科書ではなく、時事的な天文現象を紹介することで、真剣に聞いていた。先生の反応は、事前に職員と打ち合わせをして、復習予習的な内容だけでなく、発展的な内容も紹介できたということで、満足していただいた。職員については、Zoomの連携はとても準備に時間がかかるが、当日はスムーズにでき、また、オンラインでの良さをあらためて実感することができた。

神津小学校の総合学習支援は、こちらも5年生がこども文化科学館を応援するという位置付けとしての総合学習の授業で、12月以降毎週木曜日を使って準備を進めており、2月22日が本番である。13のグループに分かれ、展示物作成、化学実験、チラシ作成等を生徒が主体となって企画をし、職員がアドバイザーとして加わって一緒に作っている。2月17日に最終プレゼンを生徒から受け、進捗を確認し、22日の本番に向かっている。終われば手応え等を報告する。

江原委員

地域の施設を上手く活用し、学習活動に取り入れられている。理科の専門分野は興味関心の高い子どももいる一方で、全体的に学校での学習で終わってしまい、学習したことが定着しにくい分野である。今後も市内の学校に、こども文化科学館の持っている力を積極的に発信し、子どもの興味関心を高めていただきたい。

太田委員

人事面について、幼稚園で特別支援の先生が辞めたとか小学校で新学習の先生がいなくて、よく聞くがどのような状況になっているのか。

職員課長

全力で探しているものの、皆無とはいわないが臨時講師の方がいない状況

である。また、年度当初ならまだしも、年度末に近づいてくるとさらに難しくなっている。退職された方にも電話しているが、コロナ等の影響もあり確保できていない状況である。

太田委員

大変だと思うが、4月からは埋めていただきたい。

また、ある小学校では、特別支援学級が8クラスあり、通常学級にも影響が出てきている。このような状況は伊丹だけなのかが気になる。次回で良いので、阪神間の他市で、通常学級と特別支援学級の比率を教えてもらいたい。

木下教育長

小中学校でも幼稚園でも、配慮が必要となっている児童・生徒は増えている。この傾向は伊丹だけではないと思うが、学校は大変な状況になっているので今後も要求はしていかなければならない。また精神的な疾患についても、憂慮すべき課題である。抜本的な対策を検討していく必要がある。

職員課長

今年度の新しい取り組みとして、民間企業と連携し、個人のスマホ端末から登録ができるといった取り組みを行い、何名か登録者がいる。先日は神奈川の方と Zoom で面接を行った。

太田委員

学校教育部について3点質問と要望がある。

1点目は、トライやるウィークについて、今年度も様々な工夫を凝らして実施されたと思うが、どのようなことをされたのか。

2点目は、タブレットに関して様々な事案が起こっていると聞いているが、どのような事案が起こり、どのような対応をされているのか、次回で良いので教えてもらいたい。

3点目は、ICT 担当者会において学校からの要望や困りごとはどのようなものがあるか。

学校指導課長

1点目のトライやるウィークについて、例えば北中学校であれば、それぞれ班ごとに企業や地域のお店の PR をしようという取り組みをしている。先日、その取り組みの集大成として、ことば蔵で発表会を実施した。他には、危機管理室に協力を仰ぎ、避難所の設営体験をした学校もある。また、臓器移植コーディネーターを呼び、将来を見据えた取り組みをした学校もある。事業所に行かなくても、どのように地域と繋がるかについては、去年は1日、今年は5日間という期間の中で、それぞれの学校が特色を出しながら工夫していただいた。

学校教育部長

ICT のことについては、指導者の端末が足りないという声をよく聞いた。国の補助金を活用して改善はしていく。また、ICT 担当者会の方のやる気

はあるが、学校の中で発言権があまりなく、進みにくいというような話を聞いたことがある。詳しくは、次回タブレットの件とあわせて回答する。

太田委員 次に、こども未来部内に記載されている ICT 担当者会とはどんなことをされているのか。

こども未来部参事 こども未来部の ICT 担当者会については、こども園と保育所にパソコンを配置するために実施している。また、保育システムを導入するにあたって、どういったシステムが一番良いか検討する場としている。

太田委員 幼稚園に行くとパソコンが足りないので困っていると聞くが増やすことは難しいのか。

こども未来部参事 幼稚園については、担任にはパソコンを支給しているが、預かりの先生や加配の先生については支給がないため。午後から事務に使用する際は職員が一斉に使用するため、使えない状況は出てきている。幼稚園においても ICT 担当者会を実施しており、保育の中でタブレットをどう活用するか等を検討している。事務という部分においてパソコンを増やすことについて積極的な検討はしていないが、組合からも声が上がっているので、今後は検討していく。

太田委員 予算的に厳しいかもしれないが、せめて先生の数の2分の1ぐらいはパソコンがないとこれからの ICT の時代では大変でないか。保育所はどんな状況になっているのか。

こども未来部参事 保育所はもっと少ない状況ではあるが、学校の ICT の授業で使っていたパソコンがいらなくなったと聞いているので、そのパソコンを担当・特別支援・にじいろ保育の担当者には配置していきたい。

木下教育長 保育所と幼稚園について、パソコンルームで廃棄するパソコンを活用し、段階的に配置していく。昨年度は、WiFi 環境の整備を行い、これからは1人1台端末がないとやっていけない時代にある。少なくとも正規職員への環境を整えていきたい。

太田委員 市立伊丹高等学校の大学進学状況が分かり次第、教えてもらいたい。
学校教育部長 分かり次第報告する。

西岡委員 給食の残食の時に一度給食センター見学の話が出ていたが、まだ決まっていなと思うので、予定が決まれば教えてもらいたい。

保健体育課長 日程の調整を行い、連絡する。

木下教育長 推薦入試の時にコロナによって受験ができなかったものについてはどうなっていくのか。

学校教育部長 学校現場に確認した段階では、陽性となり受験できなかったものは3名いる。濃厚接触者で別室受験したのものも3名いる。

木下教育長 陽性で受験できなかったものは再度3月に受験するのか。それとも、ダブルで受験できないのか。

学校教育部長 その点については、今後保護者との話になる。定員が割れているところであれば受けやすいと思うが、人気のところについては、再度推薦を受けることは勇気がいると考えている。

(5) 議案第10号の審議（日程第3）

木下教育長より「議案第10号 伊丹市立博物館条例施行規則及び伊丹市立博物館協議会規則を廃止する規則の制定について」を議題とする旨の発議の後、「博物館機能を移転して、市立伊丹ミュージアムを設置するため、「伊丹市立博物館条例施行規則及び伊丹市立博物館協議会規則を廃止する規則」を制定しようとするものです。」との説明がなされ、生涯学習部長より補足説明があり、全委員一致で、「議案第10号」を可決。

(6) 報告第1号の承認（専決第1号）（日程第4）

秘密会での審議の後、全委員一致で、報告第1号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第1号「令和3年度伊丹市優良児童・生徒顕彰の追加決定について」を承認。

(7) 報告第1号の承認（専決第2号）（日程第5）

秘密会での審議の後、全委員一致で、報告第1号「教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」の専決第2号「令和3年度伊丹市教育委員会賞の追加決定について」を承認。

(8) 議案第11号の審議（日程第6）

秘密会での審議の後、全委員一致で、「議案第11号 市立伊丹ミュージアムの管理運営の基本的事項を定める規則案に対する意見について」を可決。

(9) 閉会宣言 木下教育長（午後2時50分）

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育長 木下 誠

伊丹市教育委員会委員 江原 礼子